

事業所名

りあんの丘

支援プログラム

作成日

2025 年

11 月

28 日

法人（事業所）理念		こども・家庭・地域が希望をもってつながりあう社会の実現を目指します。 「Lien=絆」「丘=成長と展望」を理念の核とし、こどもの内にある芽吹きを信じ、寄り添い、ともに育ちあう支援を通じて、〈希望の丘〉となることを使命とします。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> こども一人ひとりを尊重し、個性に応じた支援を行う。 対話と省察を重ね、支援の質を常に見直し、職員の専門性向上に努める。 地域との連携を深め、インクルーシブな共生社会の実現に寄与する。 		<ul style="list-style-type: none"> 家族との協働を大切にして子育てを支えるパートナーとして寄り添う。 専門性の高いチーム支援体制のもと、質の高い療育を提供する。 				
営業時間		9 時	0 分から	15 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 食事・排泄・更衣等の日常的・基本的な生活動作を通して、生活習慣を身につけ生活リズムを整えるように援助する。 体調が悪いことを自分の言葉で伝える・自分で汗を拭く・水分を摂るなどの生活を豊かにする行動が自分で出来るようにしていく。 療育時間に関しては、スケジュールの可視化など時間管理が無理なくできるような環境を整えるとともに切り替えが難しい場合には、その場に応じて適切な言葉かけを行う。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動機能・体力を養う遊びには次のようなものがあり、（指先・感覚・運動・模倣・制作遊び・サーキット・戸外遊びなど）その中でも目と手の協応動作を促す遊びや手と足を同時に動かす「二重課題処理能力」を育む遊びを意識的に行う。 手や足で触れた感覚（冷たい、固い）を感じ取ること＝感覚刺激も大切で療育に取り入れていく。しっかり身体を動かしての遊び、発達に重要な役割をもつ「バランス覚（前庭覚）」と「ボディ覚（固有覚）」を育てたり、いろいろな感覚を保有するきっかけをつくるためにも運動遊び・感覚遊びを行っていく。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 物の大小や長さ・重さ・時間・曜日などといった日常生活に必要な概念を視覚的ni理解しやすい教材や聴覚を刺激する言葉かけなどを用いて学ぶ。 五感を十分に活用して必要な情報を収集しやすいように色・形・音・触り心地が直接伝わりやすい教材を用いていく。 小集団でのゲームでの適切な行動形成のための支援や季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動を計画し行っていく。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 実体験や絵カード・歌などでたくさんの言葉に触れ理解に繋げる。 自分の気持ちを言葉にしたり質問に答えたり、自己紹介・他己紹介をプレゼンテーションするなどの言語表出・受容を大切にする。 触覚、簡単な表現等による多様なコミュニケーションや言葉においては、要求・報告・模倣などのコミュニケーションを学び、自分の中で選択して使っていく機会を設ける。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 支援者との信頼関係を築くことから始める。支援者は感情の起伏に寄り添い気持ちの代弁者になることや、友達同士でのトラブルには、見守るだけでなくその状況に応じて仲立ちとなり相談援助を行う。 異年齢の小集団で活動するカリキュラムや自由遊びの中で、ルールや約束を守って楽しく活動する体験をする。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 対面や電話を用いて保護者と連絡を取り、家や事業所での様子を共有する。 家庭や園での困りごとに対しては、助言やサポートを行う。 定期的に相談会や、ペアレントトレーニングを実施する。 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 定期的に並行通園の園や、相談支援事業所などの関係機関と連携を図り、様子や支援方針などを共有していく。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 市の療育センター・地域の交流センター・保健センター・相談支援事業所など地域の関係機関と連携を図る。 地域のお年寄りや、併設する園の子どもたちとの交流をする。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子や支援方法に関する短時間ミーティングを毎日行う。 1 月に 1 度程度ロングミーティングをして共通理解を図る。 療育の質の向上のための研修をする。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練・園外保育・ハロウィン・クリスマス会・七夕会・クッキングなど・抜粋した園の行事への参加 						